

みえ高校生県議会

事前オンライン説明会

事前オンライン相談会

みえ高校生県議会 事前オンライン説明会 開催概要

参加する高校生に、みえ高校生県議会の開催趣旨、当日の概要、県議会の役割と仕組み等を説明する事前説明会をオンラインで開催しました。

(内容)

1. 自己紹介
2. みえ高校生県議会の開催趣旨、当日の概要説明
3. 県議会の役割と仕組み説明
4. 質問作成の留意点等説明
5. その他

(開催日)

- 6月 7日 (火) 紀南高等学校 (広聴広報会議委員：石垣委員)
- 6月 9日 (木) 暁高等学校 (広聴広報会議委員：川口委員)
- 6月13日 (月) 聾学校 (広聴広報会議委員：山本委員)
- 6月14日 (火) 四日市高等学校 (広聴広報会議委員：津村委員)
- 6月15日 (水) 桑名高等学校・飯南高等学校
(広聴広報会議委員：藤田座長・山崎委員)
- 6月16日 (木) 四日市南高等学校・名張高等学校
(広聴広報会議委員：日沖委員・小林委員)

(質問作成の留意点における質疑)

- ・ 議場での話し方で気をつけるべきことはあるか。
→ ゆっくりとわかりやすく話すと良い。個人的には標準語になるように注意している。県の職員も同じ人間であるため、感情のぶつけあいになると議論ができないので、お互いを思いやりながら話をしている。
- ・ 本番で緊張しないためにどうすれば良いか。
→ しっかり準備をして、たくさん練習をする。頭の中に覚えているので、なにも見なくても、相手を見ながら話ができる。当日までの準備をしていくと、自分がこれだけ準備してきたから大丈夫という思いで臨めるので、緊張もなくなると思う。また、私は7万人の人口のところから選出されているので、登壇するときには1人でも、後ろには7万人一緒にいるという感覚で立つと、リラックスして話ができる。

- どこまで詳しく調べてから質問をすれば良いか。
→ 県議会議員の一般質問は、議員 1 人あたり年 1 回しかない。その順番が回ってくるまで、いろんな地域を回ったり、勉強したり、県民の声を聴いたりしている。その中で質問のテーマを見つけたときに、自分がどう考えるかだけではなく、法律や条例ではどうなっているのかという根拠をしっかりと調べないといけない。すでに法律で決まっていることを知らずに質問してしまった場合、あれ？ということになるので、法律や条例は事前にしっかりと調べるようにしている。

(当日の様子)



みえ高校生県議会 事前オンライン相談会 開催概要

参加する高校生が作成した質問内容（案）に対して、議員からブラッシュアップに向けたアドバイスを行う「事前相談会」をオンラインで開催しました。（ブラッシュアップを希望する高校を対象に開催）

（内容）

1. 自己紹介
2. 参加校から質問内容の概要説明
3. 担当議員から生徒へのアドバイス
4. 今後のスケジュールおよび当日の留意点等説明

（開催日）

- 6月20日（月）聾学校（広聴広報会議委員：谷川委員）
- 6月23日（木）桑名高等学校・暁高等学校
（広聴広報会議委員：川口委員・小林委員）
- 6月28日（水）飯南高等学校（広聴広報会議委員：濱井委員）
- 6月30日（木）名張高等学校（広聴広報会議委員：山本委員）
- 7月 1日（金）四日市南高等学校（広聴広報会議委員：小林委員）

（主な議員からのアドバイス）

- ・ 私も手話言語条例を作った検討委員会の一員であるが、周知することはとても重要であり、三重県民の皆さんにもっと理解してもらい、協力してもらうことで、同じように生活しやすくなる方がみえると思うため、皆さんの質問はとてもいい機会だと思う。応援している。
- ・ 学力の質問に関しては、全国学力学習調査というものがあり、数字を公表されているところもある。教育と金融の質問では、自校以外の公民の時間も調査してはどうか。学校で課外授業をやっているところがあるはず。どちらもエビデンスをしっかりと取り、データを活用するとすごく良い質問になる。また、こうしてはという具体的な提案も示して踏み込んだ質問にしてはどうか。
- ・ ほとんどの地域で防災訓練はしているが、みなさんのところまで周知ができてないのが現状だと思う。これを踏まえて、質問を検討してほしい。

- 「インフラ整備が必要かわからない道路が整備されていた」とあるが、どの道路か。道路は人々の交流、農産物の売買、病院へ行くとき、災害時等に必要であり、この書きぶりを少し考えてもらいたい。道路も必要だが、重点的に医療に予算を使ってほしいということにしてはどうか。
- 虐待の防止策として、子どもが外でたくさん遊べる環境＝公園が必要であるとのことであるが、人と人が触れ合う場所はたくさんある。例えば、子ども食堂や地域の児童館など福祉的な施設にも触れてはどうか。
- 「空き家」だけでなく「空き店舗」の情報を移住希望者に提供するというのは、かなり良い視点である。また、他県では移住の支援金制度を東京からの移住に限らず、全国どこからでも対象としている等、他県事例を紹介して、三重県の支援をより充実させるよう持っていくことも良いと思う。この2つを提案型の質問につなげてはどうか。
- パネルを活用し、質問の文章量を減らす手もある。また、すでに周知の事実や、すでに県が取り組んでいることについては、あまり詳しい説明をしなくてもいいので、提案のほうに時間を使ったら良いのではないか。

(当日の様子)

